

読者のみなさんのページです。21ページに掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

井戸端 市民通信

月刊

読者の伝言板



● 前回の国勢調査の時はアパートで一人暮らしをしていましたが、今ではもう二児の母になりました。五年後の国勢調査ではもう一人増えているかも。(ちーたんさん 29歳・泉)

● 子育て支援クーポンの支給があり、さっそく一時保育を申し込みました。リフレッシュできて良かったです！(みみみさん 31歳・將軍野)

● 現在二歳五か月の孫が生まれてからすっかり孫馬鹿になった私。おしゃまさんの言うことを聞いて、あつちへこつちへ右往左往。おかげで効果抜群、足が丈夫になったのです(孫馬鹿のババさん 61歳・茨島)

● 最近はさみを使うようになった三歳になる娘に、子ども用のはさみを買ってあげました。ある日、洗面台が髪の毛だらけ。娘の頭がたいへんなことに。娘曰く『かみ』なら切っていいって言った。『かみ』は髪の毛ってちゃんと教えてよ。(田んぼついで略したり、発

音も独特になりがちで、三歳児に注意され反省大矢照見さん 31歳・下北手)

● 九月からスクールガードをしています。子どもたちの元気なあいさつに自分も若返った気分になっています(佐藤忠さん 68歳・仁井田)

● 市民の平均年齢がいちばん低い地区、桜台ニュータウン。高齢者が地域に親睦の和を広げる目的で、若い町内会長さんと地区の民生委員さんのお力添えで、「桜台クラブ」が誕生し、初めての顔合わせが開かれました。こじんまりとした会ですが、古くからの友だちのように話し合い、腹の底から笑い合った一日でした。お互いに体に気を付け、次の機会を楽しみにしています(橋勇治さん 76歳・桜台)

● 旧金子家住宅を見学に行き、とてもなつかしく拝見しました。奥行き二十五間の通り土間、まさに私の幼いころの家もそうでした(柏谷清子さん 56歳・御野場)

地域のお話 おしえて!!

飯島松園^{しょうえん}友好会が結成30周年

合い言葉は「集まる、しゃべる、笑う、楽しむ」

9月25日、飯島松園町内会の老人クラブ「松園友好会」の結成30周年祝賀会が行われました。会場の松園公民館(飯島道東二丁目)には来賓・会員など34人が集まり、余興のカラオケなどで盛り上がりました。

松園友好会の結成は、飯島地区でいちばん早い昭和50年。高齢者の仲間づくり、健康づくりがおもな目的でした。それから30年、健康についての講習会やレクリエーションに励んだ成果は、集まった会員たちの元

気な姿に現れています。中には今年初の田沢湖マラソンで20*コースを完走したかたも!

「私たち高齢者が仲良く、健康でいられるために大事なのが情報です」と話す会長の九嶋恒三郎さんは、就任した平成6年から会報「友好」を書き続けています。8月末に通算133号を迎えた会報は、会員たちの結びつきをさらに強くしています。

祝賀会の最後は、みんなで

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりのニュースがありましたら、広報課までお知らせください。

tel(866)2034 FAX(866)2287

「北国の春」を熱唱。仲良く、楽しみながら積み重ねた30年。仲間たちとの思い出づくりはまだまだ続きます。



友人たちと健康が宝物です



おしゃべりかわらばん



放課後が楽しみ!!

授業が終わったら、ここに遊びに来ているよ。ドミノやブロック、お絵かき、ままごと、いろいろ遊べるんだ。友だちと一緒にいられるからすごく楽しい! ぼくたちの児童室、やさしく、きれいに使います!

上北手児童室に来ていた、左から松本直樹くん、浅利冨輝くん、嵯峨健太くん(上北手小)



上北手小学校内に上北手児童室がオープンしました。楽しみにしていた児童室ができて、子どもたちも大喜び。みんなで仲良く使ってね。

起業が夢になりました

私たちのグループは、体験企画やサークルの情報を提供して、みんなを元気にする会社を考えました。収益のあがる事業計画って難しい...。でも、起業の楽しさを知って、いつかは事業を起こしてみたいと思いました。



市産業フェアで、学生による仮想会社の発表会に参加した筒井理紗さん(国際教養大)

自然の魅力を伝えたい

自分の住んでいる秋田市のために何かをしたくて、参加しました。他の大学のみんなとの活動は、新鮮な意見が聞けて、いい刺激になります。子どもたちが外で遊びたくなるような、楽しく学べる企画を練ります。



環境学習の指導者を育てる「あきた環境楽会」に参加している草薙咲菜さん(県立大)

何の仕事をしようかな?

学習会の職種は全部で20種類。私は銀行員と保育士(幼稚園教諭)の講座を受けました。自分がしたいこと、なりたい職業を考えるいいきっかけになったと思います。スポーツとか、何かを教える仕事をしてみたいな。



中高合同進路学習会で講座を受けた近江祥子さん(御所野学院中3年)

三十六歌仙をアレンジ

「佐竹本三十六歌仙」の“美短版”を制作。自分のアレンジを加えつつ、顔などは忠実に描きました。時代のちがいを面白く表現するのが、難しかったですね。僕が作ったのは柿本人麿と坂上是則のものです。ぜひ見てください。



「美短版三十六歌仙」を制作した笠井雅広さん(美術工芸短大)

最近、風が涼しくなってきた。夏よりも、涼しい秋が大好きです。たくさんお出かけして、たくさんおいしいもの食べようっと(kyoさん 20歳・旭川)

自閉症の一人息子を施設に入所させ、その一年半後に主人が急死し、以来うつ病で八年間近く入院を繰り返していましたが、今は退院して一人暮らしですが、友だちや近所のかたがた、兄弟などに支えられるようになりました(サッチーオバサン 67歳・川尻)

係からひとこと

「あきたふるさと手作りCM大賞」。みなさんご存じですか。秋田県にある市町村が、それぞれ我が町をPRする三十秒のCMを作り、その優劣を競うという、なんとも広報マン泣かせの企画です。

昨年、秋田市はこの大会で優秀賞を獲得し、CMが年間百回も放送されました。

今年も期待は大きいのですが、結果はまさに時の運、ふたを開けてみないとわかりません。

現在、制作活動の真っ最中、うまくいけば、一日一回お茶の間に秋田市のCMが流れます! そうでなければ... やめよう、考えるの(相場)

広報クイズ



金足東小の農業体験

9月16日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「18」回目、問2が「10」周年でした。全問正解206通(応募総数208通)の中から、次の20人のかたに図書カード(10人)とスグッチ携帯電話ストラップ(10人)をお送りします。

敬称略 =

図書カード 秋田のヒマ人(外旭川) 秋深し(下新城) 安藤忠(茨島) 佐藤数也(牛島) 佐藤幸子(雄和) 繁野ミヤ子(金足) しほっぴー(広面) 長谷川友子(寺内) 堀川貞子(仁井田) 大和谷トミ子(千秋)

ストラップ 相原チヨ(新屋) 浅野良夫(飯島) 工藤和郎(東通) 斎藤吉郎(將軍野) 佐々木キミエ(山王) 佐藤歎乎(川尻) 菅原勢子(新屋) 橋功(茨島) 人見いね子(將軍野) よくばりスズ虫(外旭川)

10月の広報クイズは21ページです。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)